９　都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	徳島駅からアミコビルまでの地下通路・ロータリー再整備に関する提言	近隣県では、松山市駅前広場のリニューアルや高松の「あなぶきアリーナ」「高松オルネ」の開業により駅前が明るく賑わいを見せています。徳島県もこの勢いに乗って、他県に遅れをとることなく魅力ある駅前空間づくりを進めていただきたいです。 1.徳島駅地下からアミコビル地下1階への地下通路 ・徳島駅の地下からアミコビル地下1階までを地下通路でつなぎ、歩行者の安全と天候に左右されない回遊性を確保する ・壁面にデジタルサイネージを設置し、阿波おどりの映像や観光PR動画などを放映する ・徳島駅の高架化が実現した後は、駅北口側へもアクセスできるよう延伸を検討する 2.徳島駅ロータリーの再整備と歩行者広場の創出 ・現在はバス、一般車、タクシーが分離されておらず、一般車の進入禁止も判別しづらいため危険 ・路線バス、タクシー、一般車の送迎エリアを専用レーン化して完全に分離 ・駅からアミコビル連絡橋の屋外エスカレーターまでを駅前広場とし、阿波おどりのモニュメントや青石を使ったベンチなどを配置して、県のランドマークにふさわしい空間を目指す 3.アミコビル地下1階に食のミュージアム ・アミコビル地下1階の食料品売り場を整備し、「関西の台所」と呼ばれるにふさわしい徳島の食の魅力を発信する「食のミュージアム」としてリニューアルする
2	全国港湾知事協議会	○後藤田正純徳島県知事は全国港湾知事協議会を通じて、徳島小松島港の港湾管理者たる後藤田正純徳島県知事が、徳島小松島港を国際拠点港湾（港湾法第二条第二項）にしなければならない。 ※徳島小松島港を国際拠点港湾にすることで、徳島自動車道の徳島沖洲IC及び徳島南部自動車道の徳島津田ICと小松島IC（仮称）との海と陸との更なる結節拠点化の推進を図る。 ⇒FAZ（国際貿易センター・国際貨物コンテナターミナルなど）
3	魅力ある学びの場の創出に向けた教育環境の強化（高校改革等）	○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立穴吹高等学校を六年制一環教育学校となる徳島県立穴吹中等教育学校にしなければならない。 ※徳島県立城ノ内中等教育学校，東京都立小石川中等教育学校，東京都立桜修館中等教育学校，東京都立三鷹中等教育学校，神奈川県立相模原中等教育学校，神奈川県立平塚中等教育学校など ○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立池田高等学校三好校を徳島県立池田高等学校から分離独立させて、農業系高等専門学校となる徳島県立三好生物資源科学高等専門学校にしなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は文部科学省事務次官を通じて、徳島県立鳴門高等学校に併設型中高一貫教育校となる徳島県立鳴門中学校を開校しなければならない。 ※徳島県立富岡東高等学校と徳島県立富岡東中学校，徳島県立川島高等学校と徳島県立川島中学校，東京都立両国高等学校と東京都立両国中学校，東京都立白鵬高等学校と東京都立 白鵬中学校，東京都立武蔵高等学校と東京都立武蔵中学校など

９　都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
4	南海フェリー継続を希望	現在、2028年3月末の事業撤退が懸念されている「南海フェリー」について、航路の維持・存続を強く望み、一利用者として提言いたします。 後藤田知事が、和歌山県の宮崎知事との直接協議の場を設け、航路維持に向けて前向きに議論を進めてくださる方針を示されたことを、大変心強く感じ、応援しております。 南海フェリーは観光・生活・物流、そして災害時の命綱として絶対に失ってはならないインフラです。民間や国、和歌山県と連携した「新しい形」での維持に向け、利用者を増やすための具体的なアイデアとして、【小松島港時代の歴史の復活と、名物「ちくわうどん」による船内活性化】をご提案いたします。 かつて南海フェリーは小松島港を発着とし、鉄道との連絡とともに大変な活気に満ちていました。当時の船内や港の賑わいを、いま一度「食と体験」という形で令和に復活させてはいかがでしょうか。 ＊ 名物「小松島の竹ちくわうどん」の船内提供：四国のフェリー文化である「船上うどん」に、小松島名物の香ばしい「竹ちくわ（フィッシュカツなど）」を豪快にトッピングした限定メニューを船内で提供する。海を眺めながら食べるこの一杯は、それ自体が乗船の目的になる強力な観光資源になります。 ＊ ２時間の乗船時間を有意義にする「小松島・徳島体験」：昔ながらのちくわの売り子スタイルを船内で再現したり、徳島・小松島の歴史や観光情報を２時間の航路内で楽しく学べる仕掛けを作ることで、単なる移動を「徳島観光のプロローグ」に変える。 ⋆徳島南部の地域活性につながることや大阪府からは、車やバイクを乗せて徳島に遊びに行けるのが魅力的に感じています。 ＊ 和歌山・徳島双方の文化交流の場へ：徳島のちくわとすだち、和歌山の梅干しや醤油といった両県の名物をコラボさせたメニュー開発、農産物の店内販売など、２時間の滞在時間を地域活性化の最大の武器にする。 ただ税金を投入して維持するのではなく、過去の素晴らしい歴史遺産と地元の食文化を掛け合わせ、乗って楽しくなる仕掛けを官民一体で作っていく。そのような前向きなビジネス視点での議論を、ぜひ和歌山県との協議でも進めていただきたいです。 知事の強力なリーダーシップのもと、南海フェリーが未来へつながる新しい姿で存続することを心から願っております。
5	西条大橋南詰交差点の信号について	西条大橋南詰交差点、北向の信号機に直進と右折の矢印信号を設置してくれませんか。 時差式信号になっていますが、南行きの対向車があれば、対向車が停まるまで右折しない車もあり、渋滞の原因になっています。特に夕方は直進車が進めないくらい渋滞しています。
6	四国地方利水大会	○後藤田正純徳島県知事は四国地方利水大会を通じて、一級河川の吉野川及び那賀川の河川の利水治水事業を行わなければならない。⇒河川法 ※具体的には吉野川第十堰可動堰化事業の工事着手 ※具体的には那賀川水系細川内ダム建設事業の工事着手

９　都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
7	南海フェリー　静脈動脈の物流改善	企画概要書： 関西・四国 広域連携第三セクターによる「徳島－大阪（4往復）・和歌山（3往復）」 一体経営および静脈・動脈物流循環事業計画 1. 本事業の背景と目的 本提案は京阪神への物流を強化するため、「徳島－大阪（新設・4往復）」および「徳島－和歌山（現行維持・3往復）」の計7往復体制を持つ広域連携第三セクターを設立。 大阪圏（大阪市等）のごみインフラ危機（ピット満杯）と、徳島県の森林資源（徳島すぎ）の販路拡大を掛け合わせ、往路の木材（動脈）と復路のごみ（静脈）を組み合わせ航路経営基盤を確立。 2. 包括的運航体制と「2隻体制」の大阪航路 ･和歌山航路（1日3往復・6便）： ･大阪航路（1日4往復・8便）： ･労務管理のホワイト化： 乗船時間をドライバーの休息時間（改善基準告示クリア）としドライバー不足を解消する。 3. 動脈・静脈物流の積載管理（日量100トンの厳守） ･徳島側の処理能力限界を考慮し大阪からの受入量は【日量100トン】 ･【往路（動脈）：徳島 ⇒ 経済圏】 「徳島すぎの原木」の大量輸送、陸路からモーダルシフトしたい「一般の物流トラック」に開放。大阪臨海部（平林・堺等）の製材所へ搬入する。 4. 初期投資と「4自治体連携」ファイナンス計画 公表されている新造船建造費（45億円/隻）をベースに、2隻体制への投資額を再試算。 ･初期投資総額：100億円 o大阪航路用 高速大型フェリー（2隻）：90億円（公表値：45億円 × 2隻） o港湾設備・密閉コンテナ等初期導入費：10億円 ･資本金（出資金）の分担案（目標：10億円 / 残り90億円は地方債、環境債、JRTT共有建造等） 5. 収支・採算性シミュレーション ･ 想定年間総収入：約23億円 o 大阪からのごみ処理委託費（年3.5万トン×3万円）：10億円 o 大阪航路（1日4往復の木材・一般貨物運賃収入）：7億円 o 和歌山航路（3往復の運賃収入）：5億円 ･ 想定年間運航コスト：約16億円 o 大阪航路（高速船2隻の燃料費・人件費）：12億円 o 和歌山航路（3便縮小によるコスト削減）：4億円 ･ 【年間差し引き利益（グループ全体）】：約6億の黒字 【投資回収計画】 毎年6億円の安定した黒字を返済に充当徳島市の新焼却場建設費（200億円）早期償還に貢献

９　都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
8	全国港湾知事協議会	○後藤田正純徳島県知事は全国港湾知事協議会を通じて、国土交通省国務大臣及び国土交通省港湾局長に要望して、後藤田正純徳島県知事が港湾管理者たる徳島小松島港を国際拠点港湾（港湾法第二条第二項）にしなければならない。併せて、徳島小松島港沖洲埠頭と徳島南部自動車道の沖洲ICとの海と陸の結節点拠点化，徳島小松島港赤石埠頭と徳島南部自動車道の小松島IC（仮称）との海と陸との新たな結節拠点化を推進しなければならない。 ※東京臨海副都心，横浜みなとみらいMM21，千葉幕張新都心，神戸ポートアイランド及び神戸六甲アイランドなどのウオーターフロント
9	道路整備課への苦情	１０月２０日に、道路整備課あてに以下の表題でメールしたのですが、何らリアクションがないまま１週間以上経過しました。できないならできないと連絡してほしいものです。表題「道路の照明が切れているので取り替えて欲しい」本文「沖洲樋門橋西詰の「徳土４４０３」の照明が切れており、足元が全く見えないので取り替えてください。よろしくお願いします。」なお、今朝確認したのですが、徳土４４０３に西側の横断歩道の横の照明も切れています
10	南海フェリーを守ってください！	最近徳島好きっぷで南海フェリーを利用して２度ほど徳島県を観光させていただいた者です。 私は徳島県民ではありませんが実家が香川県に関係していることもあり、お遍路の航路が閉ざされるというのは他人事ではありません。 先月初めてフェリーに乗ったのですが、この航路の重要性、船旅の素晴らしさは一度乗っただけですぐに感じられました。 明石と鳴門の大橋では、このフェリーで味わえる感動は絶対経験出来ないと思います。 完全体での存続に少しでも貢献できないかと徳島側フェリーターミナルでお土産も沢山買いましたが、なんとかならないのかと思っている所へ、後藤田知事が来月本格的に和歌山側と協議するというニュースが報じられました。 本当にありがたい事です。　これを機会に徳島県一丸となってなんとか南海フェリーを完全存続していただけるよう何卒よろしくお願いします。 個人的には、今回の経営危機は５６７が原因なのだから、かつらぎの後継船は国が建造して南海フェリー側に無償で与えるという形でもいいと思います。　日本国にとって重要な航路なので、南海フェリー会社がどうにも出来ないなら国営化すべきような案件ではないでしょうか。